

【がんばる市内企業の事業活動や事業展開を紹介します】

がんばる大洲企業

長浜化成(株)

～顧客に愛される均質品を造る～

◇所在地 大洲市長浜町拓海

◇電話 52-1236

弊社は昭和43年に福山ゴム工業(株)の履物製造の関連工場として生産を開始し、平成2年に現在の長浜町拓海に拠点を移しました。

平成18年に履物生産から撤退し、現在は主に建機用のゴムクローラを製造しています。日本を代表するメーカーに販売していて、設計段階から協議し製造しています。

弊社を含め、製造業界を取り巻く環境は年々厳しくなっています。四国では輸送コストが比較的高いことに加え、原材料であるゴムの値段が数年前に比べると、約1.5倍に上昇しています。それを製品に転嫁できないことが悩みとなっています。そういった厳しい状況下にあっても、弊社は不良品をより減らせるように、第一に「品質の向上」、そして「コスト削減」を常に意識しています。製造過程において、どんなに小さなことでも報告するよう指導を

徹底しています。

現在、原料などの供給は本社に頼っていますが、将来的には、供給から製造までを長浜だけで行える環境を整えていきたいと考えています。それは受け身ではなく、自らが行動することが大切だと思っております。

弊社の従業員は約24人で、そのほとんどを市内から雇用しています。従業員をはじめ、人柄のいい人が多くいることが、大洲の魅力だと思っています。そのため安心して生産活動を継続することができています。これからも、顧客に愛される均質品を造り、社会に奉仕することをモットーに、本社に負けない工場を目指していきます。



文化財

金竜寺のイチヨウ
愛媛県指定天然記念物
金竜寺所有



秋の紅葉する時期、八多喜から戒川へ上る山腹にひときわ黄金色に目立つイチヨウがあります。

これは、金竜寺の境内にあるイチヨウで、2本とも雌株になり最大で根回り15.1m、枝張りが東西に30m、南北に26m、樹高約30mの大きさです。

文化3年(1806)、お堂を再建するため当時大木であったイチヨウを伐採して建築の費用に充てたことが金竜寺の棟札に記されています。この時代採された切り株から発芽したものが現在のイチヨウになります。

樹齢200年を越えているにもかかわらず、イチヨウの勢いは活発で、紅葉した葉が太陽に照らされると、山に黄金が浮き出ているように輝いて見えます。

(昭和44年2月18日指定)

野鳥

エゾビタキ(蝦夷鶉)
スズメ目ヒタキ科
大きさ15cm



エゾという名前のお通り、カムチャッカ、カラフト、中国北東部で繁殖し、春と秋に日本列島を通過します。特に秋は8月の終わりに訪れ始め、11月の中旬くらいまで渡ります。

エゾにはよく似た仲間もいますが、胸に縦じま模様が一番の決め手で、一番飛来数が多いのも特徴です。野鳥の少ない夏の終わりに、色付き始めたクマノミズキを食べている彼らに出会うと、思わず「ようこそ」と声をかけたくくなります。四国にはお遍路さんにお接待をする習慣がありますが、人類が現れる遥か昔から、日本列島を通過している彼らにも、ほんの少し、優しい気持ちで自然環境を守り続けられたら、我々人間にとっても、明るい未来が開けると思います。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

大洲の食育

大洲市では、「大洲市食育推進計画」に基づいて食育の推進を図っています。その活動の一環として食に関する情報を定期的に掲載します。

今回は、大洲市地産地消推進協議会の活動の一部を紹介いたします。

地産地消の推進

大洲市地産地消推進協議会は、地産地消の推進を目的として平成21年度に設立され、次のような取り組みを行ってきました。

- ・オリジナルドレッシングの開発
- ・学校給食での大洲産米の活用
- ・【肱川・河辺地区】⇕【愛たい菜】を対象とした、農産物集荷体制の整備
- ・地産地消啓発パンフレットの作成

・新規作物、品種の栽培試験

また、当協議会が支援を行っている大洲農業高等学校の活動が認められ、今年2月に同校が全国地産地消推進協議会会長賞を受賞しました。

今年度は、来年9月の新学校給食センター運営開始にあわせ、10月～11月の2か月間、昨年オープンした愛たい菜から学校給食センターへ農産物を供給する実験を行い、問題点の洗い出しや効率的な供給方法の検討を行うことにしています。

地元の食材を知ること、食べることへの関心が深まり、健全な食生活にもつながります。今後も市民のみなさんが、より地元の食材に触れる機会が増えるよう地産地消の取り組みを行っていきます。



東京での授賞式



小学校での食育教室

とっておきの撮影

スポット探しています

【観光係職員のお勧めショット】

【肱川に浮かぶ庵】

(臥龍山荘不老庵)

周囲の下刈りをして、臥龍山荘不老庵の足下の石垣と柱がはっきりと見えるようになりました。今年の冬は、雪景色に美しく映える不老庵を見ることができそうです。不老庵の対岸から撮影できます。



【今も残る懐かしい風景】

(榎谷の棚田)

長浜町戒川の榎谷地区の棚田です。稲刈りも終わり、きれいに刈られた美しい棚田が見渡す限りに広がりとても印象的です。



このほか、あなただけのとっておきの撮影スポットを募集しています。

みなさんからご紹介いただいた写真・場所は、市のホームページなどで定期的に紹介いたします。ぜひ、みなさんのお勧めをご紹介ください。

【情報の提供方法】

様式などは特にありません。住所・氏名・電話番号・題名・コメント・撮影場所を記載してください。

郵送・FAX・メール・持参
いずれも可

【問い合わせ先】

商工観光課観光係

☎242111 (内線532)

FAX 240080

メール

syoukokuankouka@city.ozu.

ehime.jp

大洲市の指定文化財を新たに指定

大洲市教育委員会では、平成23年6月27日に、新たに左記の2件を大洲市指定文化財に指定しました。

・大洲市指定天然記念物

「村島の白梅」

所在 大洲市菅田町菅田

所有 個人

・大洲市指定有形文化財

(歴史資料)

「韓魏公集」版木 608点

附 収納箱 11箱

所在 大洲市中村

所有 大洲市立博物館

「村島の白梅」は、菅田町上村島地区の県道大洲野村線沿いに位置しています。樹齢300年以上の梅の木で、樹高が7メートル、根廻りが2・85メートルと市内でも最大のものと言えます。

「韓魏公集」版木は、江戸時代後期に大洲藩10代藩主加藤泰清と11代藩主泰幹の2代にわたって刊行された『韓魏公集』と呼ばれる中国の書籍21冊分の版木です。

その総数は608点にも上り、代々加藤家で大切に保管されてきたため保存も良好で、全冊分すべて欠けることなく残されていることから、大変貴重な歴史資料であると言えます。



韓魏公集版木



村島の白梅

わらじで歩こう坂本龍馬脱藩の道



9月10日(土)、わらじで歩こう坂本龍馬脱藩の道の昨夜祭として、河辺ふるさととの宿で龍馬を語る夕べが開催されました。

昨夜祭では、歴史アイドルとして有名な美甘子さんの「龍馬の生き方に学ぼう!」と題した講演があり、自分が歴史アイドルになったエピソードや、龍馬にまつわる逸話などを話されました。

この日、全国各地から集まった51人の龍馬ファンは、美甘子さんの話に熱心に耳を傾けていました。

第2部では交流会が開催され、ファン同士が龍馬について熱く語り合う場面も見られました。

11日(日)は爽やかな秋晴れのもと、「第23回わらじで歩こう坂本龍馬脱藩の道」が開催されました。龍馬ファンやウォーキング愛好家など約300人の参加があり、市境から一気に脱藩の道を駆け下りるAコース(15km)と、浪漫八橋を散策できるBコース(17km)に分かれ、龍馬の思いを感じながら、その足跡をたどりました。

途中、溪谷の美しい「三杯谷」では、地元の人たちにより、おにぎりや温かい味噌汁などでもてなされ、龍馬が宿泊したとされる「泉ヶ峠」を目指しました。

起伏の激しい山道にリタイヤする人もいましたが、それぞれ初秋の山里でのイベントを満喫した1日でした。



福祉と健康づくり 「市民のつどい」

福祉と健康づくりを推進する「市民のつどい」を、今年も次のとおり開催します。

日時 11月13日（日）午前10時～午後3時
会場 総合福祉センター



講師 大場 久美子先生

記念講演会

午後1時～2時30分
**「こころのメカニズム
 を知って、ストレス
 対策をしましょう」**

1973年、劇団入りし子役デビュー。77年、“一億人の妹”のキャッチフレーズで、アイドル歌手としてデビュー。「あこがれ」他多数ヒット。ドラマ「コメットさん」でプロマイド売上が2年連続1位になるなど絶大な人気を誇る。

2008年、自身のパニック障害10年間の闘病から克服までをテレビ・新聞などに告白後は、同じ病気の人やさまざまな悩みを抱え苦しんでいる人からたくさんのお話を受けるが、自身の経験のみの対応に限界を感じ、認知行動療法などの専門知識を学び、心理カウンセラーの資格（日本推進カウンセラー協会認定）を取得。以後、メール・電話・対面による心理カウンセリングを開始し、現在まで数百人に認知行動療法・来談者中心療法を行っている。

☆健康・相談コーナー

介護、福祉、年金、運動、食育、心の健康づくり、栄養などの相談

☆展示・即売コーナー

心をこめた手作り作品

☆人権啓発コーナー

人権パネル展

☆生活環境コーナー

ゴミ分別クイズ

☆フリーマーケット

家庭の不用品を販売

催し物 一 覧

【問い合わせ先】 社会福祉課 ☎24-1715（直通）



H22【推薦】流動感

肱川あらしフォトコンテスト作品募集

肱川河口では、秋から冬にかけて冷気に霧を伴った「肱川あらし」が発生します。

この「肱川あらし」をテーマとしたフォトコンテストにご応募ください。

【応募先・問い合わせ先】

〒799-3401

大洲市長浜甲480-3

肱川あらし実行委員会

（長浜支所地域振興課内）

☎1111

※（株）ラボネットワーク取引の各写真店を経由しての応募もできます。

【応募期間】

11月1日（火）～平成24年1月31日（火）

【応募上の注意】

・写真のサイズは、カラープリント四つ切り（ワイド四つ切り可）
 ・応募作品は、1人3点までとし、今シーズン中に撮影した未発表のものに限ります。

・人物が写っている作品は、本人（被写体）の承諾を得た上で応募してください。

・作品は、応募者本人が撮影したものに限りません。他人の名前を使用した場合は失格になります。

・応募票（自作可）に必要な事項を明記の上、作品裏面に添付してください。

・応募作品の著作権は、主催者側に帰属します。

・入賞者は、所定の日までにネガまたは電子データを主催者に提出してください。

・入賞は、1人1賞とします。

・応募作品は、返却しません。

・デジタル・カラーフィルムいずれの応募も可能ですが、合成写真は応募作品として認めません。

【発表】

平成24年2月下旬
 愛媛新聞紙上（入賞者には直接通知します。）

【賞】
 推薦1名 賞状と賞金2万円
 特選2名 賞状と賞金1万円
 準特選3名 賞状と賞金3千円
 佳作5名 賞状と特産品

「応募票」様式

| 肱川あらしフォトコンテスト応募票 | |
|------------------|------------|
| 題名 | |
| (フリガナ)氏名 | |
| 住所 | 〒□□□□-□□□□ |
| 電話番号 | |
| 撮影年月日 | 平成 年 月 日 |